２学期「命の週間」における清明小学校の取組

◎ 主な取組について

主な取組	具体的な内容	○学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
いつだれ週間、心のアンケートの実施	学校独自の心のアンケートと、相談したいことがあれば、担任以外の教職員に相談できる取組。	○全学年全学級の児童 ・悩みや不安があるときには誰にでもSOSを出せるという安心感をもたせるとともに、不安感をもっている児童の存在の確認、また、その児童一人一人の状況を把握することで細やかな声掛けや対応に当たることができた。今後も該当児童の様子を注意して見ていくとともに、話を聞く機会を設けていく。
校長、生活指導主任からの児童への講話、学校だよりでの保護者への啓発	一人一人の存在の大切さについて、校長による講話。周囲の人を大切にするための生活指導主任からの講話。互いに支え合うことの大切さについての学校だより巻頭言。	○全学年全学級の児童、保護者 ・温かい言葉によるコミュニケーションや、互いの違いを認め合うことで、より良い人間関係を築き成長し合うことにつながるということを、始業式で児童に伝えた。保護者に対しては、家庭での励まし、子供の気持ちに寄り添うことの大切さを学校だよりで発信した。「命の週間」の取り組みの詳細について伝えたことで、児童同士の挨拶やコミュニケーションが良くなり、他者を意識することができた。今後も学校全体での取組を発信し、保護者への啓発を図っていく。
生活指導夕会での教職員間の情報共有	学級担任から、２学期が始まってからの学級の様子についての報告、及び情報共有。	○全教職員 ・２学期が始まってから気になる児童の様子や、いつだれ週間のアンケートからケアが必要な児童などについて報告し合うことで、SCを含む全教職員間で情報を共有し、全職員が児童に寄り添った指導にあたれた。長期休業明けのタイミングでの情報共有を今後も実施していく。